

8章 効率的な検索方法

ここでは、KOSMOSやデータベースで検索する際のキーワードの選択方法や、検索の基本テクニックを紹介します

コツ①

検索キーワードは、短く・単語で



東宝 企業戦略



東宝の企業戦略

「東宝における企業戦略」
「企業戦略からみる東宝」
……などが拾えない



Point

データベースでは基本的に、入力したキーワードにそのまま合致するもののみ検索結果として表示します。

(GoogleやYahoo!などの検索エンジンとは仕組みが違います)
よって、検索キーワードは「短く・単語で」が基本です。

キーワードの言いかえを検討する

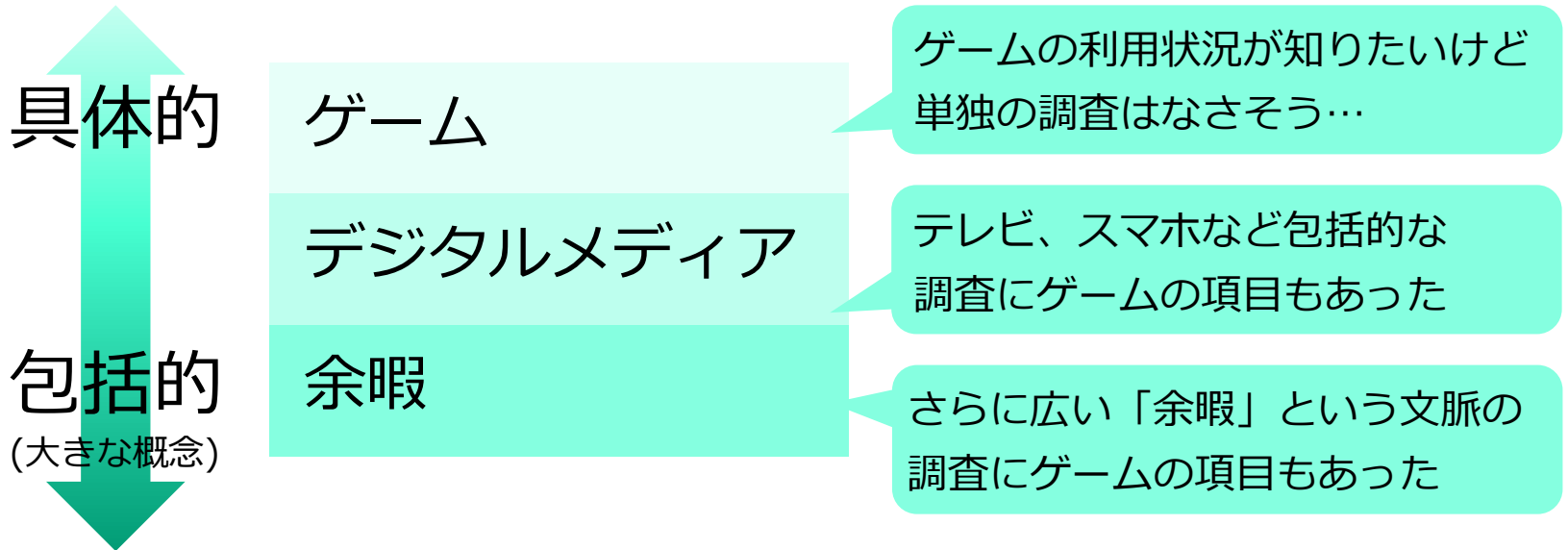
同一	高層建築 ビルディング
類似	都市計画 商店街活性化 まちづくり
関連	SNS Instagram LINE
表記	まちづくり 町づくり 街作り
省略形	慶大 (慶應義塾大学)
単数複数	child / children



Point

データベースは「入力したキーワードをそのまま」検索するため、
 表記や用語に注意する必要があります。調べる分野でよく使われ
 る表記・用語を意識しましょう。事典類を参考にしてもよいです。

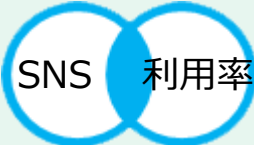


キーワードをより具体的/包括的に



Point

“知りたいことそのもの”が主題の資料があるとは限りません。
より包括的な資料の一部として、知りたいことが掲載されている
場合があります。逆に、自分の知りたいことが漠然としていると
きには、要求を具体化することで資料が見つかる場合があります。

キーワードを組み合わせる

AND検索	<p>入力した検索語すべてを含む資料を検索</p> <p>SNS 利用率</p> <p>検索</p>	
OR検索	<p>入力した検索語の少なくともひとつを含む資料を検索</p> <p>OR (大文字・前後にスペース) を入力する</p> <p>こども OR 未成年</p> <p>検索</p>	
NOT検索	<p>NOT後のキーワードを含むものを除いて検索</p> <p>NOT (大文字・前後にスペース) を入力する</p> <p>京都 NOT 東京都</p> <p>検索</p>	



キーワードを精査したうえで、組み合わせも工夫してみましょう。

AND検索のほか、OR検索で表記揺れをまとめて検索したり、

NOT検索で検索ノイズを除いたりすると効率的に検索できます。

その他便利な検索テクニック

フレーズ検索

入力した語順どおりに検索
ダブルクォーテーションで囲む

“Book of Han” 検索

→Book of the Later Han は検索に出ない(語順が指定と違うため)

ワイルドカード

任意の文字を指定して検索
単数・複数や語形変化を一度に検索できる

wom?n 検索

→woman womenなどを検索(任意の1文字)

cultur* 検索

→culture cultural culturallyなどを検索(複数文字に対応)



Point

欧文の資料を検索するときは特に、語順や活用に注意が必要です。
データベースによっては異なる記号を指定される場合があります。
各データベースのヘルプを参照するようにしましょう。